

令和7年度第1回伊予市地域福祉計画策定審議会伊予市地域福祉活動計画策定審議会

令和8年1月27日(火) 午前10時～

伊予市役所4階大会議室

委員

嶮本宏美、上本昌幸、植木規子、水田恒二、高本英昭、柴中美保、高石達也、  
藤村一美、釜野鉄平、藤岡政晴(欠席)、山田智香子、米湊明弘 (敬称略)

次第

1. 開会

2. 自己紹介

3. 議事

(1) 第4期伊予市地域福祉計画・伊予市地域福祉活動計画の進捗状況について

(2) その他

①計画策定の流れ(予定)

②次期計画の計画期間について

事務局	これより議事に入ります。 それでは、この後の議事進行につきましては、条例第6条第1項の規定に基づき、釜野会長に議長をお願いしたいと存じます。会長よろしく申し上げます。
会長	それでは配布していただいております、資料の次第に沿って議事を進行させていただきたいと思っております。 第4期地域福祉計画・地域福祉活動計画の進捗状況について確認をしていきたいと思っております。地域福祉計画について事務局から説明をお願いいたします。

事務局	<p>地域福祉計画の進捗状況について説明をさせていただきます。</p> <p>第4期伊予市地域福祉計画主な取り組みの推進状況について、お手元の資料（別紙1）とあわせてご覧ください。スライドでは、取り組みの推進状況について、前年度からの主な変更や取り組みがあったポイントについてご説明させていただきます。</p> <p>基本目標2「地域でつながる仕組みづくり」ですが、(1) 地域コミュニティの形成において、福祉ネットワーク連絡会「ほっとネットいよし」による地域活動において、福祉関係機関で支援を行っている方と出店活動やカフェ活動を行い地域交流、社会参加の醸成を図っています。特に、カフェ活動は地域から開催を望む声もいただいております。</p> <p>基本目標3「誰もが暮らしやすい環境づくり」では、(1) 暮らしやすい生活環境の整備において、コミュニティバスのルートや時刻の見直しの実施、デマンドタクシーの利便性の向上について取り組みを行っています。(3) 生活困窮者への支援では、地域包括支援センターと共同で、市内スーパーや施設等での出張相談を実施し、アウトリーチによる相談の受付を行っています。</p> <p>基本目標4「福祉サービスを推進する基盤づくり」では、(2) 情報提供の充実において、LINEを活用した情報発信を行っており、LINE登録者数はR7年10月1日時点で、3,201人となっています。(3) 福祉サービスの充実において、令和7年3月に第3期伊予市子ども・子育て支援事業計画を策定し、基本理念に本市のキャッチフレーズである「育てよう 未来の伊予 世界をかけるこどもたち」を追加し、世界を担える人材育成を高度に実施しておくことを明確化しています。(5) 利用者の保護・権利擁護において、成年後見中核機関を社会福祉協議会に委託し、機能強化を図るとともに、今年度から市民後見人養成研修を実施し、7名の方が修了されており、成年後見制度、権利擁護の周知啓発を図っています。</p> <p>続きまして、第2次伊予市総合計画に基づく成果指標について、資料の（別紙2）とあわせてご覧ください。</p> <p>成果指標につきましては、目標値と2024年度の実績を比較しつつ、推進状況に応じて、A～Dをつけております。スライドでは、目標値に対して、2024年度の実績差が比較的大きい項目について、取り上げています。</p> <p>まず、基本目標1「地域福祉を支える人づくり」ですが、ボランティア</p>
-----	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

ア活動団体会員数について、1,000人の目標値に対して651人となっています。個別の問い合わせ対応やホームページ等を活用しながら、引き続き、会員数の確保に向けて各団体の活動周知や情報提供等に努めていきます。

基本目標2「地域でつながる仕組みづくり」ですが、自主防災組織防災訓練参加率について、100%の目標値に対して、43.1%の実績となっています。徐々に参加率は向上していますが、毎年実施する地域もあれば、まったく実施していない地域もあるなど、まだまだ地域によって実施頻度に偏りがあります。自助・共助の意識向上にも繋がる防災訓練への更なる参加に向けて、周知啓発や訓練実施の支援等に努めています。

基本目標3「誰もが暮らしやすい環境づくり」ですが、デマンドタクシー利用者数について、4,400人の目標値に対して、3,821人の実績となっております。人口減少に伴った利用者減少もありますが、情勢に合わせた利用者ニーズの把握を行いながら、使用方法の改善を行い、利用者の確保に努めています。コミュニティバス利用者数について、15,200人の目標値に対して14,418人の実績となっています。路線や時刻の変更を行いながら、運行実績を分析し、利用しやすい内容の検討を行っています。

基本目標3「誰もが暮らしやすい環境づくり」ですが、特定健診受診率について、60%の目標値に対して、38.1%の実績となっています。地域特性を考慮した健診計画や健診環境の整備、周知方法などにより、受診率は向上しています。第4期特定健康診査等実施計画推進のもと、今後も更なる受診率向上の取り組みを図る必要があります。

以上、取り組みの推進状況と成果指標から、本市の現状としましては、コロナ禍を経て、地域活動等が徐々に再開してきており、参加人数等の向上が図られています。地域ごとの特色を活かしながら、地域コミュニティの形成を図る取り組みも見られています。一方、今後の課題としては、自主防災組織防災訓練参加率やデマンドタクシー、コミュニティバス利用率等、今後ますます重要性が増す施策についての取り組みが求められます。公助では補えない部分の自助、互助をどのように活かしていくか検討していく必要があるため、令和9年度から策定される第3次総合計画と連携しながら、取り組みや成果指標を検討していく必要があります。

以上で、地域福祉計画に関する説明とさせていただきます。

会長	事務局から説明がありました但委員の皆様から何か質問等ございませんでしょうか？
会長	<p>地域福祉の中で求められる公助だけでは補えない部分、自助・互助をどのように活かしていくか、これは全国的に共通する課題だと思います。認知症サポーターや市民後見人養成研修等、いわゆる福祉を担う人材の育成というものを市民の中で色々な形で養成活動を行っていますが、それらの研修を受けた方たちの横の繋がりはあるかというところをお伺いしたいと思います。</p> <p>その背景としましては、地域の中で様々な福祉的な活動、生活支援体制整備事業もそうですが、民生委員・児童委員や地区会の方などが行政から様々な依頼を受けて役割を担うけれど、調整はそれぞれ別の部署で動いていることもあるかと思ひます。役割を担っている民生委員や地区会長さん達は、市から受けている一つの役割として捉えるけれど、行政側としては個別に依頼をしているということがあるかと思ひます。もし他の研修等で成年後見に興味があり、研修を受けた方でも認知症の方や高齢者の方と関わる活動をしたかと思ひたり、また別のものに興味を持ったりする可能性もあるかと思ひます。それぞれの事業が別に行われているから、他の事業について知らなかったり、関わるきっかけ作りが無かったりするのではないかという気がしたので、その辺り、色々な研修しているけれどそれぞれが別の活動を知るきっかけを提供しているのかどうかということをお教えいただきたいと思ひます。</p>
事務局	ご質問ありがとうございます。研修に参加していただく人をどうやって集めようかというときに、関係する他事業で実施している研修等で研修案内をさせていただき事は行っております。研修の実施に関しても、今年度、市民後見人養成研修を実施したので、そちらの話になりますが、他課や関係する係、社協とも協働で開催させていただいたため、それぞれが担当している研修等でも、周知等を図らせていただいております。今後もこういった取り組みの中で色々な研修に興味を持っていただいて、参加される方も横の繋がりを作っていくだけだかと思ひております。研修に参加される方が民生委員や見守り員等参加をお願いしている方もいらっしゃるが、今後一般の方にも少しずつ広げていけるかというところは今後の課題として考えております。

<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。研修等で他の活動を知る機会や参加する機会を得られるのは重要だと思います。やはりどの団体組織でも、特にボランティア団体でも高齢化が進んでいると思います。県内他の会議に出ても、高齢化というのはどこでも大問題化していて、後継者問題も深刻だと思っております。そういう意味でやはり地域の自助・互助を高めるというのであれば、地域の人材バンクといいますか。例えば高校の色々な部活動で何かこういうときに、地域行事のボランティアをしてくれないかという検討や、逆に学校行事でこういう人が必要だったら地域や市の方でも手伝いますよ。という風に一方的に助けられるだけではなく互いに補助し合う関係から地域活動を盛り上げるといった方法。そういう具体的な策を地域の人に任せきりということは限界があると思いますので、そういう手段のアイデアも今後、出せていければ良いかと思い質問させていただきました。</p>
<p>委員</p>	<p>やはり地域コミュニケーションの不足が本当にいろんなところ出ていると思います。自主防災が徐々に増えてきたというけれど、色々な会等に出ていく機会があるが、自主防災の自主訓練や防災訓練などは参加率がものすごく低い。コロナ禍の前は住民の人たちが話し合っ、いろんなところにすぐに参加していくような状況ができていたのですが、今はできていないという中で、例えば民生委員や他の委員さんなどそういうのも担う人が、もうほとんどいなくなっているという現状があります。ですので、一つ一つ募集していくことには限界があるということで、考え方を改めてコミュニケーションを築くにはどうしたらいいか根本的に考える必要があるのではないかと感じております。「情報提供の充実」というところで、LINE等を使って、これからどんどんやっていくと思いますが、高齢者の方がたくさんおられます。高齢の方が活用できるのかということについても、考えて欲しいと思います。総合的な考え方を示してもらおうというか、行政で示してもらおうのいいのか、どうしたらいいのかわかりませんが、考える必要があるかなと感じました。</p>
<p>会長</p>	<p>地域に参加するきっかけや、情報収集のきっかけというのも、あらゆる年齢層に対応できることが求められるというところですが、今日は進捗状況の報告になりますので、次の計画の際のキーワードとして</p>

事務局	<p>いっていただければと思います。</p> <p>地域福祉計画に関してその他質問等よろしいでしょうか。</p> <p>一体的に策定する地域福祉活動計画についての報告も行っていただきますので、それを合わせてでも次の報告を伺ってからまた質問をいただければと思います。</p> <p>では、続いて地域福祉活動計画につきまして担当の方よろしく願いいたします。</p> <p>これから伊予市社会福祉協議会の第4次地域福祉活動計画進捗状況をご説明いたします。</p> <p>社会福祉協議会は、5つの基本目標をもとに活動に取り組んでいます。1つ目は、情報提供の充実等を目的とした「もっと知ろう、知らせあおう」。2つ目が、「仲間を増やし支えあおう」。3つ目が、在宅福祉サービスの充実を目的とした「いつまでもここで暮らそう」。4つ目が、「より良い支援を進めよう」。そして最後が「みんなで力を合わせよう」。この5本柱となっております。</p> <p>これから、それぞれの目標に即した取り組みをピックアップしまして、概要や課題等をお伝えいたします。</p> <p>まず1つ目、「もっと知ろう、知らせあおう」の目標のもと、「社協だより」年6回の全戸配布やホームページやインスタグラムなどでも情報を発信しています。</p> <p>次に、社会福祉大会の開催です。前年度までは「社会福祉大会」と「ボランティアフェスティバル」を合わせた「あい・愛フェスタ」という名称で開催しておりましたが、7年度が社協20周年ということもあり、「社会福祉大会」の規模を拡大いたしました。まず、たくさんの方が来場できるよう、会場をウェルピア伊予に変え、記念講演では元TOKIOの山口達也氏にお願いしたところ、当日は例年以上の市民の参加がありました。</p> <p>次は福祉教育の推進です。「車いすを使う人の気持ちになって考える」をテーマに、郡中小学校の4年生を対象に車いす体験の授業を行いました。</p> <p>また、由並小学校では、手話サークル「伊予ハンズ」の方々に協力していただき、3・4年生に「耳が聞こえないとは」という体験を通して、手話の大切さを学ぶ授業を行いました。</p> <p>2つ目の目標“仲間を増やし支えあおう”です。ボランティア講座の開催につきましては、後ほどご説明いたします。</p>
-----	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

共同募金事業の推進では、より多くの方々に「赤い羽根共同募金」や「歳末たすけあい募金」がどのように活用されているのか、知っていただくためにチラシの配布や街頭募金活動を毎年行っております。そして、集まった募金の一部を市内のボランティアグループや小地域のグループ、また放課後児童クラブなどに配分いたしまして、有効活用に努めております。

次に、民生児童委員協議会運営事業の推進では、民生児童委員としての知見を広げるために視察研修を行ったり、障がい・児童・高齢者等の各部会に分かれて年に2回ほど勉強会を行ったりと、民生委員活動に役立てています。

高齢者見守り員設置事業の推進においては、6年度までは一律の活動費の支給だったのが、7年度より訪問回数や定例会への参加に応じた活動費の支給、また定例会の回数の削減、そして地区社協の活動はボランティアで、といった仕様書の変更により、地域活動に一部支障が出ている状況です。

3つ目の目標“いつまでもここで暮らそう”です高齢者と障がい者の訪問介護につきましては、ヘルパーの人手不足、また報酬改定による収入減により事業赤字が続いていることから事業所の見直しを行いました。高齢者の訪問介護につきましては、伊予・中山・双海にあった3事業所のうち伊予事業所を閉所し、中山事業所を双海事業所の出張所といたしました。障がい者の訪問介護についても、拠点を双海事業所に移し、伊予と中山の事業所を双海事業所の出張所といたしました。

次に、介護予防施設の「じゅらく生きがい活動センター」です。後ほどご説明いたしますが、このように日替わりで高齢者の認知症予防や生きがいにつながる活動に取り組んでおります。

4つ目の目標“より良い支援を進めよう”です。総合相談・援助活動といたしまして、孤立や経済的困窮など生活に困っている方に対し、緊急的な食糧支援を行っております。この食料につきましては、市役所の方々からいただいた食料や、ボランティアセンターをはじめ、町家やなかやま幸梅園等のご協力を得て設置しており、フードバンクで得た食料をお渡しております。

また、双海町上灘の「おたふく」をはじめ市内各所で出張相談を行い、相談者に寄り添って、生活の課題解決に向けて尽力しております。

就労準備支援事業では、引きこもりや複合的課題を抱えている利用

者に対し、生活リズムを整え働く気持ちに前向きになれるよう、できるところから支援を行っております。

社会福祉協議会では、一般市民の悩みごとの解決に向けて、弁護士や税理士・行政書士の相談会を無料で実施し、幅広いニーズに対応しています。

5つ目の目標“みんなで力を合わせよう”です高齢者の仲間づくりや孤独感の解消を目的に、お世話人が中心となって小地域の集会所等で実施している「ふれあい・いきいきサロン」です。毎年世話人研修会を実施して、世話人同士の交流づくりやレクリエーション技術の習得、また、新しい遊具の紹介などを行い、お世話人の後方支援を行っております。

次に、地区社協の活性化です。社会福祉協議会では、地区別に職員が担当し、事業のサポートを行っております。地区ごとに特色ある活動を行っており、写真は、順番に郡中地区社協の「敬老の家」事業、中山地区社協の「お餅づくり」、双海地区社協の「給食サービス」の様子です。

次にボランティアにつきまして、ご説明いたします。資料にありますとおり、令和7年度はボランティアの心構えと高齢者の心理を理解する「ご近所おたすけボランティア講座」と、レクリエーション技術の向上を目的とした「バルーンアートボランティア講座」を実施いたしました。

また、災害に関心を持ち、いざという時のために活動支援者を増やすことを目的とした、「災害ボランティア養成講座」を2月から計3回実施いたします。3回目の2月22日には、実習を踏まえて家具転倒防止についての勉強会を実施し、協力員を募るとともに、高齢者宅での家具転倒防止事業を再開する予定です。

一方、ボランティアの課題としましては、うまくマッチングできていない現状があります。「何かお手伝いができれば」と登録してくれたボランティアに対し、相談があるのは、「地域や施設で行うイベントで踊りや演奏などで盛り上げてくれる人はいないか」といった相談が多く、個人ボランティアの活動機会がないのが実情です。そこで、個人ボランティアができることを広く周知し、一つでも活動機会を増やすよう努力いたします。

次に、指定管理事業の「じゅらく生きがい活動センター」についてです。高齢者の介護予防施設として、楽しく明るい生活が送れるよう、各種生きがい活動に取り組んでおります。

令和7年度は、「双海生きがい活動センター」と「下灘老人憩の家」の指定管理事業が終了した後も、希望する高齢者へ介護予防事業を継続するため、「じゅらく」への送迎サービスを毎週金曜日に行っております。ただ、資料にありますとおり、現在平均約5名で下灘地区からの利用者はいません。地理的に遠いのは否めませんが、周知活動を工夫して双海地区高齢者楽しみが増えるよう支援してまいります。

権利擁護事業につきましては、令和7年度から成年後見中核機関事業を伊予市から委託を受けて実施しております。認知症や障がいなどにより、判断能力が不十分な方が不利益を被ることがないように、相談から家庭裁判所への申し立てまで、その家族や親族と一緒に制度の利用をサポートしてまいります。

また、相談があがってきた際には弁護士や医師、司法書士等のメンバーで構成する「権利擁護支援ネットワーク連絡会」を開催し、生活状況を鑑みて権利擁護に関するどのようなサービスが必要なのかを協議・検討します。

令和7年度は、成年後見セミナーの開催や、伊予市介護支援専門員連絡会での出前講座として成年後見制度の周知啓発に努めました。課題といたしましては、成年後見制度そのものの認知不足を感じており、研修会等を通じて理解を広め、その人が安心して暮らせることができるよう努めてまいります。

最後に、それぞれの基本目標の課題についてです。もっと知ろう、知らせあおう」は、「社協だより」の広報誌を読んでもらう方も多数いらっしゃいますので、SNS等の更新回数だけでなく、広報誌の中身の充実も図ってまいります。

「仲間を増やし支えあおう」は、ボランティアについて、「来てほしい側」と「活動したい側」それぞれの情報を発信して、ミスマッチを減らしたいと思います。また、地域のニーズも変わってきているので、関係団体から情報を集め、必要な講座を検討したいと思います。

「いつまでもここで暮らそう」は、介護職員の人手不足や高齢化、また報酬の引き下げにより経営難が続いているが、組織体制や職員配置の見直しにより立て直しを図ってまいります。

「より良い支援を進めよう」は、社協が「身近な相談所」となれるよう、アウトリーチの機会を増やし、成年後見制度や生活困窮者に関する事業では、相談機関との連携を深め、包括的な組織体制ができるよう努力いたします。

「みんなで力を合わせよう」は、関係機関や団体の協力を得なが

	<p>ら、新たな福祉課題に取り組み、いつ起こるかわからない災害に対しては、ひとりでも活動支援者を増やし、災害ボランティアセンターの体制整備に努めてまいります。</p> <p>以上で、「第4期 地域福祉活動計画進捗状況」の説明を終わります。ありがとうございました。</p>
会長	<p>ありがとうございました。今ご説明いただいた内容について、質問等委員の皆様からございませんでしょうか。</p>
委員	<p>失礼いたします。質問というか要望になるかもしれませんが、まず「いつまでもここで暮らそう（在宅サービスの充実）」ですが、介護保険事業、障害者福祉事業で経営管理の中で廃止統合という形がりますが、一般の市民から社協は訪問事業をやめたのかということ時々聞かれることがあります。質問ではございませんが、間違った認識でサービスが無いのかという方もおりますので、社協だより等できっちり、また分かるようにしていただいたらということです。</p> <p>それともう1点が、「よりよい支援を進めよう」の中の家具転倒防止対策推進事業。主に一人暮らしの高齢者の方に対して家具の転倒防止の器具をつけていくとかそういう人の養成をしているではなかったかと思いますが、今、市でも危機管理課で家具転倒防止対策事業補助金というものも実施しております。これは事業費の4分の3が補助されるというもので、例えば2万円の家具転倒防止をつけましたら1万5000円の補助がつくという形で、現在補助がついた関係で、転倒防止も進んでいるのではないかという中で、こういったボランティアの養成講座の協力員の募集と、この補助金の関係がきっちり結びついているのかそれに基づいて協力員の方の募集が社協の方でどうなっているのかお聞かせいただいたらと思います。</p> <p>あと最後ですが、第4期地域福祉活動計画の成果指数の方のご説明がありましたが、令和7年の数値を、令和6年度や前年度と比べますとかなり差があるというのは、これはまだ事業完了してないので、この人数なのかそれとも現時点でこの示されている数値から変わらないのか、教えていただいたらと思います。</p>
事務局	<p>1点目介護事業についてですが、こちらにつきましては介護報酬単価等々厳しい状態続いております。ですが、社会福祉協議会では中山や双海地域などで、なかなか民間の事業所が入らない地域でサービスが</p>

	<p>低下してしまうことがあってはならない。というところで、ある程度統廃合したところではありますが、なるべくサービスの低下が起きないように最善の方法を探り、今の状態で運営をさせていただいております。確かに地域住民の方でもなかなかご理解いただいているところもあるかと思えます。こちらにつきましては担当しているヘルパー等も、丁寧に説明させていただければと思っておりますし、社協だより等でも時期を見ながら定期的に周知をしていけたらと思っております。</p> <p>家具転倒防止事業ですが、こちらにつきましてはコロナ禍前から高齢者見守り員にご協力をいただき、1人暮らし高齢者の方が必要な方がいらっしゃいましたら取り付けをしておりました。これについては、基本的に寝室のみということで、対応をさせていただいております。</p> <p>材料代を負担していただき、取り付けにかかる工事費用や人件費等については社協で負担をしております。また、取り付けは事業者ではなく、ボランティア有志の方々に取り付けをしていただいております。コロナ禍以降、個人宅への訪問が難しいということも続いておりました。コロナ禍も落ち着いてきましたので、危機管理課とも調整を図りながら、最善の方法で事業計画をしていきたいと思っております。</p> <p>成果指標についてですが、年度毎での集計であり、残り3ヶ月間行う事業もあります。若干こちらの実績は変わってくるというところでご理解をいただければと思えます。</p>
会長	<p>ボランティア講座参加人数や民生委員研修参加人数等、今後の3ヶ月でももう少し実績が増える予定だということによろしいですか。</p>
事務局	<p>そうです。ボランティア講座につきましても、災害ボランティアの養成講座は人数に含まれておりませんので、こちらについてももう少し人数が増えると思われます。</p>
会長	<p>ボランティアの講座を受けても登録する人数が増えないというところで、これは講座に参加してもそのボランティアには繋がっていないというところで、先程の質疑でもありましたが、人材については全体で考える必要があるのかなと改めて思います。</p> <p>また、社協で非常に多様な事業を展開している中で、コロナ禍が明</p>

事務局	<p>けてから変化等もあったかと思いますが、地域の人たちの福祉への認識が変わる中でどのような印象をお持ちか社協目線での印象を教えてくださいいただければと思います。</p> <p>コロナ禍以降やはり地域での事業や取り組みも少なくなり、例えば、ふれあい生き生きサロンにいても、コロナが明けても生活様式が変わった等で、高齢者もなかなか地域に集まりにくいということで、再開するサロンも少なかったりしました。</p> <p>令和6年、令和7年、少しずつではありますが、互いが集まって、少しずつでも地域の活動をしていこうよという雰囲気は何となくは感じております。</p> <p>社協としてもコロナ禍で止まっていた事業等につきましても福祉としては必要な事業かと思っておりますので、少しでも活動者を増やして、再開に向けたいと思っております。</p>
会長	<p>おそらく機運が少しずつ出てきているところをうまく地域関係でバックアップができればと思います。</p> <p>他に何か質問はございませんでしょうか。</p>
委員	<p>とても綿密な計画をされていて、あとは先ほどおっしゃったように、どれだけ実践が充実してくるかというところになるのではないかと感じています。</p> <p>その中で、課題に挙がっていたじゅらくいきがい活動センターへの各地域からの参加、また成年後見人セミナーや各種ボランティア講座などたくさん計画はされているのですが、私自身、大体紙媒体で情報を得ることが多く社協だよりも目を通していただいています。しかし、配布したからといって、どれだけ浸透しているか、ということも大事で、繰り返し伝えたいことを伝え続ける。そして、広まればボランティア講座への参加者も増えたり、登録者数も増えたりしていくのではないかと思います。お手伝いができることがあればしたいと思っている人も少なからずいるように感じます。なので、どれだけ周知していくか、更にしっかり市民全体にいろいろな計画をしていることが伝わるようにしていく。どんな方法がいいか分かりませんが、そういうことを考えていただければと感じます。</p>
会長	<p>時間も押しておりますので、何かありましたら最後にご質問いただ</p>

事務局	<p>ければと思います。議事(2)その他に行きたいと思います。その他の①計画策定の流れについて事務局よりお願いいたします。</p> <p>今後の計画策定の流れについて、ご説明させていただきます。令和8年度は計画策定の指標となる、アンケート調査を実施する予定としております。7月頃に予定させていただいていた審議会ですが、アンケート内容の確認のみとなるため、書面での確認に替えさせていただければと思います。アンケート実施後は、集計が完了した後の開催を予定しております。また、アンケートの実施や地域福祉計画の策定業務につきましては、コンサル業者の協力を得ながら実施していくことを予定しております。</p> <p>令和9年度につきましては、計画の素案を作成し、素案ができた段階で審議会を実施します。8~9月頃と11~12月頃の開催を予定しています。素案の修正を図りながら、1~2月頃に審議会を行うため、年間3回程度の開催を予定しております。その後答申、意見公募を行い、令和10年度からの策定・公表を予定しております。なお、細かい時期につきましては、予定となりますので、策定の進捗によっては時期が変更する場合もございます。</p>
会長	<p>計画策定に向けて今後の流れについて説明いただきましたが、何か確認や質問はございませんでしょうか。</p> <p>皆さんに、次確認していただく事は、アンケートの素案が出来たらそれに目を通していただくのが次の動きということですね。</p>
事務局	<p>そうですね。アンケートの素案を大体7月~8月頃に皆様にお送りさせていただいて、確認等をお願いできたらと思っております。</p> <p>その確認を経てアンケートを実施して集計しましたら年明け頃に審議会を開催したいと考えております。</p>
会長	<p>完成したアンケートですが、郵送式になるのでしょうか。</p>
事務局	<p>市民の皆様には、郵送でのアンケートを予定しております。回答につきましては、郵送での返送若しくは、ウェブ回答いただけるよう考えております。</p>
会長	<p>他の市町でも平均的に年配の方の回答が多くなる傾向があるかと思</p>

	<p>います。できれば、若い世代からも、ある程度の割合の回答が出て対応できればなと思いますので、その辺も可能な範囲で検討いただければと思います。</p>
事務局	<p>承知いたしました。相談しながら検討していきたいと思います。</p>
会長	<p>計画策定のスケジュールについて、他何か気になるところはございませんか。</p> <p>続きまして、その他②次期計画の計画期間についてです。よろしくお願いたします。</p>
事務局	<p>次期計画の計画期間についてです。事務局からの提案としまして、第5期計画から計画期間を10年（中間見直し5年）としてはどうかと考えております。現在、地域福祉計画は福祉に関する上位計画として、5年の計画期間で策定していますが、他の福祉関連計画の中には延長により計画期間が5年を超えるものや、計画期間が3年の計画が混在しており期間にばらつきがあります。計画期間を10年とすることで、他の福祉関連計画と整合性を図るうえで、地域福祉計画の目標等を反映させやすくなります。加えて、令和9年度策定の第3次総合計画の計画期間も10年となっており、総合計画との連携を図るうえでも、総合計画策定の1年後に地域福祉計画を策定するサイクルに乗せることができるため、成果指標等の連携がより図りやすくなると考えています。</p> <p>地域福祉計画は福祉に関する上位計画としての特性上、計画の基本理念が大きく変わる可能性は少ないため、制度や法改正等への対応については、5年ごとに中間見直しを図りながら、10年の計画期間で運用することで、総合計画や他の福祉関連計画との連携を図った運用が可能になると考えます。併せて、中間見直しの際に住民の方の意見を反映できるような体制も設けたいと思っております。そちらの方法に関しては、社協からご説明をさせていただけたらと思います。</p> <p>社会福祉協議会です。地域福祉活動計画では地域福祉計画と共通理念を掲げて活動を行っております。社協といたしましても、福祉計画とあわせて計画期間を10年として、一体的に考えていければと思っております。</p> <p>地域福祉活動計画の中間見直しでは、5年目頃に社会情勢や地域の課題の変化を踏まえ、計画の進捗状況を評価し、必要な修正や改善を行</p>

	<p>うプロセスで新たな地域課題の把握、6 地区社協単位での地区懇談会での協議事項の変化を確認し、市民の意見を反映させていけるよう取り組んでいきたいと考えております。</p> <p>このようなことから次期計画より計画期間は 10 年、中間見直しを 5 年で実施するようなことをご提案させていただけたらと思います。</p>
会長	<p>事務局から、計画期間について提案がございましたが、何か質問はございますか。</p>
委員	<p>計画期間について、私はこれでいいと思うのですが、伊予市におきましても全国平均を上回るような高齢化が進んでおり、これも上昇し続けております。全国の高齢者人口がピークに達するのが、2040 年つまり今から言ったら 15 年先ですか。その頃には、県民の 4 割近くを高齢者が占めるということになるわけですが、2040 年を目指しての活動や事業、そういったものが中にはあってもいいのではないかと思います。</p>
事務局	<p>先程、担当の説明の中で、コンサル事業者の力を借りて策定の予定ということで申し上げたのですが、あくまで予定ですので現時点では決定事項ではございません。その点、失礼いたしました。</p> <p>2040 年に向けての計画策定ということですが、今後も社協とも話し合いを進めながら、計画の策定について検討していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>計画期間を延長するにあたり、中間見直しは非常に大事になると思います。</p> <p>介護保険事業計画という、介護保険法で市町村の義務で策定する計画がありますが、2000 年介護保険制度が始まったときに、5 年計画で始まったのですが、2005 年の見直しの際に介護保険はお金が大きく動くことや利用者も想定以上に多かったといった社会情勢があり、3 年ごとの改正になったのです。期間を短くしようというわけではなく、PDCA サイクルを回す中で 10 年となると、地域の様々なインフォーマルを担って下さっている団塊の世代の方が、大きく入れ替わると思うんです。</p> <p>また、行政や社協が行っている事業でも 10 年の間で予算削減や事業廃止も想定されると思います。中間見直しの際に、数値的な見直しや事</p>

	<p>業の変化があったときに、変更事項が確認できることを最初から明示したり、中間見直しをしっかりと実施したことを伝えられる体制を設けたり、策定の過程に検討しながら10年計画にさせていただけたらと思っております。</p> <p>次期計画の計画期間につきましてはその他ございませんか。</p> <p>想定の時間に余裕がありますので委員の皆さまから今日の感想でも結構ですし、ご意見、コメントでも結構ですのでいただいでよろしいでしょうか。</p> <p>福祉計画について、しっかりと計画立ててそれに基づいて実施されているなというところを実感した次第です。</p> <p>一点、「仲間を増やし支えあおう」といったところで、自治会に入る人も少なくなってきたということがあって、なかなか地域の仲間というか、地域で繋がり合うことや生活の場面で繋がり合うことが難しい。</p> <p>そういった現状もあるのではないかと思います。自治会で若い人や役員などをやりたくないのでは入らないとか、そういったところも全国的にも言われているところです。自治会等をサポートする仕組み作りも今後必要になってくるのではないかと計画等を拝見しながら感じたところです。そのあたりもご検討いただければと思います。</p>
委員	
会長	<p>実際に今の計画でも、地域の関係の希薄化が進んでいるとのデータであり、危惧する点なのですが、ボランティアに興味関心があるという数値も6割程度あり、ボランティアに繋がっていない方がいかに参加するかというところを具体的に進めるということは、次の計画でも考えていく必要があるかと思います。</p>
委員	<p>成果指標の中で、特に目標値に対して、達成が難しい項目でボランティア活動団体の会員数や、自主防災組織、防災訓練参加率、特定健診の受診率あたりが顕著に目標値に対して低いかなというふうに感じました。そもそもの目標値が高すぎるのか、達成するための方策や工夫がもう少し必要なのかわかりませんが、目標値が変わらないのであれば、達成に向けた原因究明を合わせていただいで、方策をもう一度見直していただければいいのかなと思いました。</p>
委員	<p>高齢化がますます進んでいる中で、なかなかボランティアに関して</p>

	<p>も参加してもらえ人数が減ってきていますので、これからも若者がどんどん出やすいような環境作りとして頑張ってもらいたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>地域では行事を行う際も民生委員だけではできない行事がたくさんあります。やっぱり地域が大事だと思います。地域が元気になっていけば、市全体が元気になると思います。上野地区では学校との連携も進んできており、授業などにも参加したりできておりますので子供たちとの連携もできてきております。また、40年ぶりに盆踊り大会を復活させPTAや地区の皆様と連携しまして、6000人ぐらいの地域ではありますが、2000人ぐらいが参加するような大きな行事となりつつあります。やはり地域行事などで地域との連携を築くことがとても大切になってくると思います。</p>
<p>委員</p>	<p>デマンドタクシーやコミュニティバスの見直しの話がありましたが、見直したことを知らない市民も多いのではなかろうかと思います。これらを利用する人には体が不自由な方も多いため、配慮して周知等をしていくことが基本ではなかろうかと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>計画に関連する部署が横の連携を取りながら計画を立てていただきたいと切に感じております。中間見直しについても情勢がどんどん変わっていく状況の中で、ある程度住民に向けた方法になっていこうに見直しを行っていかねばいけないと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>いろいろな活動を計画され実施されていると感じました。また年齢層も広いので、啓発も難しい場面がと思いました。</p> <p>いろいろな計画を聞いたときに、高齢者の方はなかなかそこまでその場に自分で行くのが大変だと思うので送迎等があったら参加しやすいのかなと思いました。</p>
<p>委員</p>	<p>まずは福祉に関する様々な取り組みがされていることに驚き、大変ありがたく思いました。</p> <p>アンケートにつきまして総合計画等でもアンケートを取っていると思いますので、他のアンケートも精査し、同じような内容を防ぐ方がいいのかなと思いました。</p> <p>学校の立場としては、やはり福祉教育を推進していくというのが大</p>

会長	<p>きな役割だと思っております。車いす体験や体の不自由な方との交流、点字の学習などがあるのですが、また新たな活動をするときには、ぜひご助言をいただけるとありがたいです。</p> <p>皆様ありがとうございました。それぞれのお立場から非常に貴重なお話を伺うことができたと思います。では、私が担当する議事はこれで全て終了となりますので事務局へお返しいたします。</p>
----	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

#### 4. 閉会